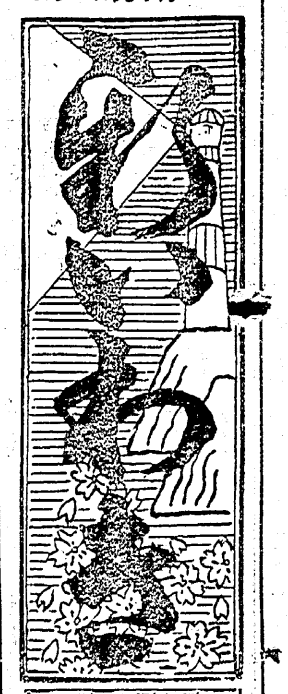
昭和五年三月廿一日 第三種郵便物認可
昭和十一年二月二十日〔日刊〕 新いわき 〔木曜日〕第一千六百九十一號

二月十九日 夕刊



日刊俱シ日曜祭日休刊一ケ月廿五錢
郵税十五錢 廣告料一行四十錢 一部二錢
發行所 福島縣平町大町二三 新いわき新聞社
發行兼印刷人 半谷政章
場所指定 二十錢均

一票の運命

愈よ審判の日は來たる

玉手箱が開かれるまでのお樂み

天地神明に誓つて所持する一票を汚さずに行使する日は愈よ明日となつた、去月二十一日の議會解散以來三旬に亘る第三區濱通りの混戰は文字通りの亂麻の巷と化した心身綿の如く疲れた各候補並に其の應援者は尚ほ且つ怯まず今日を最後として三寸の舌刀を揮つてゐる、貴重なる一票づゝの多數に迎ひられて代議士の榮冠を握るものは果して誰か選擧前までの政友二名民政一名の分野に對し公非公認三名の出馬で同志打を續けた政友派が依然既往の勢力を把握し得るかどうか石城一名双相一名の公認を以て前回の雌伏より蹶起せんとする民政黨が果して意の如き進出を見られ得るか乃至は政民中立各一名づつの新記錄を作るものか各候補共に勝利確實と見る豫想算は秘められたる玉手箱が開かれるまでの興味であるが大團圓と共に戰後の靜けさに還らるべき筈の石城政友では同派候補の當落の次第により一と悶着を免かれまいと想像され或は新舊の表面化した分裂を見はせぬかと云はれてゐる

舌刀三寸の最後戰

石城郡で今日尚十余ケ所

明日まで戰ふ星候補の奮鬪

全部で約三百回の演說

選擧投票日を明日に控いた石城の衆議戰はその最後までの奮鬪に星候補は今十九日植田町菊田座、勿來、內郷村宮、平第三校その他十一回の演說會を開催し比佐派では平、內郷、湯本その他に舌戰を續け更に明二十日は星派に於て平好間、四倉、內郷の數ヶ所に三寸の舌刀を揮はれるが之れを以て閉ぢられる演說會の開催に最も多きものは星派の約九十回、比佐候補は石城郡下六十四回双葉相馬に於て五回鈴木派も之れに劣らず次へで松本派の石城郡に於ける二十八回及び植松候補の畧ぼ同數を合せれば石城のみで三百回に近い舌戰に上つてゐると

平の不在投票十名位か

主として警察官

平署では選擧取締その他公務執行上不在の餘儀なき署員に對し棄權なきやう訓示の上この證明を受けてるもの十九名中數日前金子會計部長が管理者宮沼町長に松本書記の立會で不在投票の皮切りを行つたが今十九日引續いて警察官の不在投票があり尚ほ鐵道方面にも一、二名の同投票あるらしく今選擧には約十名の不在投票あるものと見られてゐるが昨年秋の縣議選擧には僅かに二名であつた

常識講座

ファナチックは狂信または狂信者の謂である例へば基督教門に這入つたとして聖書は神の言葉である一字一句も變更を許さずと云つた樣な頑迷固陋の考へを抱く者などを指して云

五十萬圓に近づく

平町の明年度豫算

內示會は選擧後の廿四日頃か

特戸割は一圓の增額らし

平町では最近漸く明十一年度豫算の編成を終つたので衆議院議員選擧後の本月二十三四日頃內示會を開催の模樣であるが總額は五十萬圓に近づくものゝ如く其の內容は詳細ならざるも第四小學校建設に要する約八萬圓次へで公會堂新築費の畧ぼ同額及び商業學校の移轉改築敷地買收の豫約費

鮮血書に加盟する物凄い不良の連判

湯本町を根城とする十余名

婦女誘拐から恐喝の數々

主領株全部檢擧さる

石城郡湯本町を根城として主に無產黨の運動に興した類廢者で社會から札附視されてゐる江戸家と稱する暴力團が最近其の筋の目を盜んで婦女誘拐恐喝を敢へてしてゐるので豫ねて彼等の行動を監視中でめに前年の當初豫算に能ふ限りの取捨節約を行つても所記の歲出を免かれず從つて各稅にも制限外の賦課を行はれるものゝ中に特別戸數割は前年の一戸平均十七圓五十錢に對し少なくて一圓の增額を見るものゝ如くであるが市制施行の首途に立つ同町として餘儀なきものとされてゐる

豐間村功勞表彰

石城郡豐間村では去る紀元節の佳辰に於て村長鈴木藤次郎氏が自治功勞者として知事の表彰を受けたので最近この祝賀を兼ねた村內有志者列席の席上に於て同村第三區長鈴木留吉、元衛生區長遠藤仙右エ門、鈴木治助諸氏に村治の功勞者として村長から青銅火鉢を添えて表彰したと

劍齋室直與略歷

丙子新正九十歲の自作詩を偶然の辭世として

(13)

勿來生

同四十二年己酉 十二月二十日、職務勵精に付金三圓を賞與さる(磐城中學校)。(六十三歲)

同四十三年庚戌 九月 日、直與發起の下に御厩、聖樹院境內大黑天堂に鈴及び幕を寄附す。十二月十七日、內郷第一尋常小學校に運動器建設費として金二十錢寄附、因つて當日、其の謝狀を受く。是の月二十日、職務精勤に付金三圓賞與(磐中)。(六十四歲)

同四十四年辛亥 二月二十六日、高野山日本武德社より劍道の模範狀を受く、三月二十四日、石城武德講習會大會審判係を囑託す。同日、石城武德講習會發會式に際り、粗品並に表彰狀を受く。十一日十四日、舊泉藩主本多忠籌百年忌祭に際して、奉納撃劍會開催し其の審判員たり。(六十五歲)

大正元年壬子 (七月三十日改元)十一月十六日、磐城中學校職員及び生徒等より十二年間の勤續と且つ又が振作の功に因つて金三圓並に表彰狀を受く。(六十六歲)

同二年癸丑 十月三十日、大日本武德會福島支部平分會評議員を囑託し、十一月七日、同支部平分會劍道師範を囑託す。(六十七歲)

同三年甲寅 九月六日、大日本武德會福島支部平分會發會式劍術審判員の囑託。(六十八歲)

同四年乙卯 五月 日、京都第二十回大日本武德會祭に出演したるを以て、七月十二日、小野派一刀流劍道の之が精練證、抄ゞ老齡の演技に對して畏くも、總裁伏見宮貞愛親王より優渥なる令旨を賜ふ。(七十歲)

藝妓女給酌婦共に

縣下一の平署管下

落莫の漸を踏むは遊廓のみ

娼妓では福島が第一

本縣下十年末現在の貸座敷は福島署管內潮上の六戸娼妓四十三名を筆頭として總數五十三戸二百十二人(娼妓)を算してゐるが之れに較ぶる平署管下平町五色町の當業は昭和九年末の六戸廿七名から十年末は三戸廿名に減じ年と共に落莫をたどつてゐる次へで藝妓に於ては縣下の總數一一八八人に對する平署は一四七で最高若松の二三五に次位し郡山が一一八、福島が一〇〇に止まるも酌婦にありては斷然平署管下が群を拔いて其の數三七四に達し郡山の一五九、若松の一三一、福島の一〇一を尻目にかけ縣下の同總數一四七八に對する四分の一强を制し女給に於ける一八五もまた平署が第一位で第二位の福島が一五八、郡山が六〇、若松が四九の順になつてゐるが縣下の女給の數は七五九人である

トラックに轢かれた元坑夫死亡

平町の月見町濱松屋自動車業方トラックが去る十六日酸素二十四本を積載して內郷村綴地內國道を湯本町方面に疾走中道路の眞ん中を千鳥足で行く元炭鑛坑夫耶麻郡岩月村花見幸八(四七)を避けた刹那同人もまたよけた自動車の進行先に逃げたので右大腿部その他に重傷加害者側では直ちに平町平安病院(元共濟病院)に運び應急手當の後引續いて入院加療中であつたが昨十八日午後三時二十五分遂に死亡した尚ほ被害者には引取人がないので濱松屋に於て葬儀を行ふ由である

等々重なる新規事業がある爲あつた平署では數件の犯罪を突き止め昨十八日午後主領株と睨む內郷村大字宮字宮澤四三居住安達郡岩根村の岡本字中の四一蒲生正利(二九)湯本町三函二〇二稻葉實(三七)同町上町久原時次郎(三五)同永尾清(三八)の四名を一網に檢擧し嚴重なる取調べ中であるが同衆力團の一味は鮮血書と稱する加盟連判を集め其の數約十數名に上り常に日本刀を着衣に隱し或は短刀その他の兇器を以て附近の良民を苦しめてゐたものであると

平中央青果卸市場【調】

青物	高値	安値
大葱(貫)	一二〇	一〇〇
小把葱(百把)	二,〇〇〇	一,〇〇〇
油菜(百把)	七五〇	四五〇
人參(貫)	四〇	三五
牛蒡(貫)	二〇〇	一六〇
はうれん草(百把)	一,一〇〇	七五〇
里芋(貫)	二〇〇	一五〇
馬鈴薯(貫)	二四〇	一六〇
ひら芋(貫)	六〇〇	五〇〇
澤庵(貫)	二〇〇	…
果物		
レモン(一ケ)	一五〇	一二〇
ポンカン(〃)	一三〇	一〇〇
パインアップル	二〇〇	二〇〇

今晚は西北の風、晴
明日は西北の風、晴(一時曇)
(小名濱測候所)

落葉果樹の移植期（四）

樹種と氣候の手加減

堀取りの注意、移植の際の堀り取りは成るだけ根を傷めぬ樣に堀りとることが肝要である、堀り取りの容積を廣くし又根のうちでも細根を傷めないやうにする、細根は多くの新根を發生するものであると共に苗の良不良を決定する尺度であるから殊にこの注意が必要である、

また堀り取つた細根が保存されてゐても植え付け後適當な狀態に置かれないと養分の吸收新根の發生も不良となるから特に細根を適當な位置に配置することも必要である一二年生のものには餘り必要ではないが成木堀り取りの場合には幹の廻りの二倍半の大きさで半徑の圓を畫きその周圍上に於て根を切り取るやうにする、

此の堀り取りには必要なる部分即ち圓周の所よりも相當遠い場所から堀り取つてその範圍内の根の保存に注意せねばならぬ、落葉果樹に於ては冬期ならば別段鉢土は殘す必要はないのであるが細根に着いてゐる土はそのまゝにした方が細根を傷めなくてよい樣である、

堀り取り場所の穴は一般に狹くする方がよろしい、深く堀り取る傾向があるが何れもよろしくない寧ろ廣くして深きは淺いぐらゐにした方がよろしい、移植によつて根の方は自ら前に述べたやうな方法で剪定されるが地上部の方も必ず剪定して植えつけなければならない、

◇一般印刷物も御引受致します　新いわき新聞社印刷部

スペインG・H・N元詰
ゴルフポートワイン
甘味葡萄酒　1・10
御婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です
(平2)　西村屋藥舗　(電3)

しづかに　食事の出來る　正しい喫茶堂　正しい食場
平田町　レストラン　サロン　電三五二

平町紺屋町
藤沼醫院
電五〇七番

産婦人科院　長　木村貞次郎
外科　醫學博士　内木宗八
藥局　藥劑師　大岩俊雄
平町新川町九一
入院隨意　病室完備
木村病院
電話一六四番

社員採用　二十才以上五十五才迄
固定給三十圓外手當支給
希望者は履歴書持參本人來談
平町銀治町十八番地
有價證券　現物賣買　擔保貸附
日本商事株式會社　平支部

耳鼻咽喉科專門
醫學士　鈴木正男
平町田町(電話五八番)藤田女學校前
入院應需　鈴木醫院

債券　公債　両替　金融
多田井質店
平町大工町　電話五九一番

お旅行に輕便な
新型　ボストン・バック
¥2,50　¥3,90
¥4,80　¥7,50……各種
其他旅行携帶品種々取揃いて御座います
ツルヤ　電一四〇番

結核に！
ホシ　アンチツベルケン
結核恐るゝに足らず!!
「不治の病」とは一種の迷妄—
1.50
1.50
3.00
5.00

結核豫防週間
肺結核は年々增加の傾向にあり、結核のために死亡する者は年々十二萬と稱せられ、また死亡までには至らないが、仕事も出來ずブラ〳〵して廢人同樣の生活に陷ちて居る人々を合すると實に約百萬乃至百五十萬人に上る推定である。當局は毎年結核の撲滅と豫防の爲め國民の喚起を促す事に努め、本年も四月廿七日より一週間を結核豫防週間として全國的に持たれてゐるがこの豫防週間を各人が効果あらしめなければならぬ。

肺及び呼吸器疾患
肺病療法の根本は先づ必ず治る、「肺病は不治の病」とは一種の迷妄に過ぎんことが、今日明になつたのであるからして治して見せると云ふ確固たる信念を持つこと即ち肺病の信念を固く持つこと、胃腸の健全をはかり營養物の消化吸收を良くし以て病氣に對する抵抗力を養ふこと、日光浴をすること、日光中の紫外線を最も治療的効果たらしめ、以て之が結核菌を殺し久身體の新陳代謝を能くした上に、これに信賴すべき藥劑をあせらず迷はずに、此の藥なら必ず治ると云ふ信念を以つて服用する、等であります。

ホシアンチツベルケン
は本社が大なる自信と誇りとを持つて居る有名藥の一つであつて結核菌に對する効能と、同時に咳を鎭める効と、輕度の熱を下げる作用とを兼有して居る藥であります。
本劑に肺結核、肺尖カタル、肋膜炎、氣管支カタル、腐敗性氣管枝カタル、に能く効く優秀なる治療藥であり、其他咳を鎭め痰を去り喘息にも奏効藥であります。

肺結核の疑ある人よ！
迷ふことなく、ホシアンチツベルケンに來たれ—

「健康の黎明」と題する呼吸器病治療に關する小冊子あり是非御一讀を奬む、チエーンストアに無き時は本社藥部宛御申込あれ無料送呈す。

全國ホシチエーンストアにあり
クスリはホシ
東京・星製藥株式會社

ホシチエーンストアー平支部
星藥舗
平町三丁目　(電話四二九番)